障害者及び企業に対する
ジョブコーチ支援事業について

ジョブコーチ（職場適応援助者）による支援事業

JEED

ジョブコーチが企業に訪問し、職場でアドバイス等を行います



職場

家庭でのサポート



指導・雇用管理

報・連・相





①事業主支援
障害特性に応じた
- 雇用管理
- 職務内容の設定
- 指導ノウハウ　等

訪問支援



②障害者支援
- 職務遂行に係る助言
- 人間関係構築
- ストレス対処　等

電話
連絡等

ジョブコーチ
（基本2名の複数体制の支援）

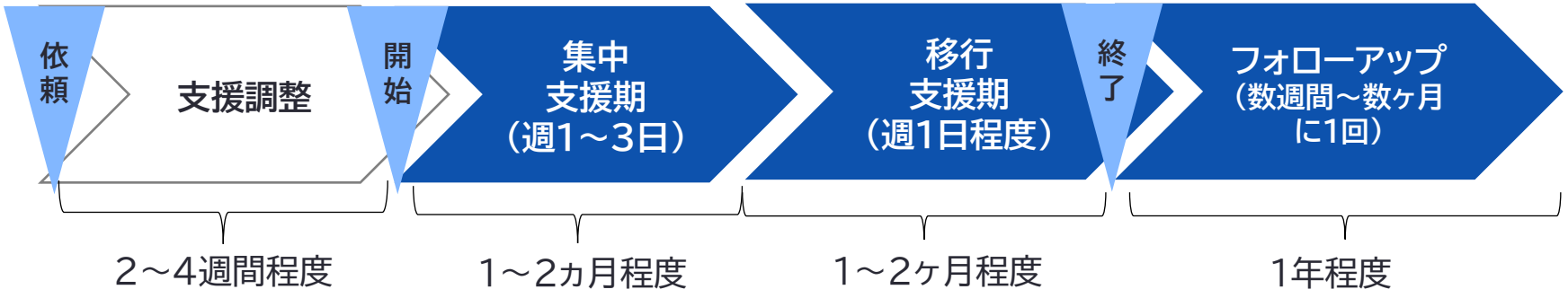
連携

③家族支援
- 情報連絡
- サポート支援

各支援機関
障害者就業・生活支援センター、
ハローワーク、医療機関、教育機関　等

ジョブコーチ支援事業の期間・流れ

ジョブコーチ支援期間は、標準的には2～4カ月です。（最大8カ月）
必要に応じて、支援期間の延長や再支援も検討します。





ジョブコーチの種類

- 配置型ジョブコーチ
  - 地域障害者職業センターの職員 （R8年度現在 5名）
- 訪問型ジョブコーチ
  - 障害者支援施設に所属するジョブコーチ
- 企業在籍型ジョブコーチ
  - 自社の従業員として雇用した障害者の支援をするジョブコーチ

- 県版ジョブコーチ
  - 鳥取県が配置し、障がい者職場定着推進センターに所属

最近の支援の傾向から

「仕事は教えられるからジョブコーチなしで大丈夫！」
「実習の様子からは、特に支援は必要ないのでは･･･。」
「個人情報を扱う職場だから、支援者の立ち入りはちょっと･･･。」

「ジョブコーチ」という名称から、
作業面の支援をイメージされがちですが、
相談や環境調整型・企業支援型の支援が多くなっている。

障害のある方からの相談内容（例）

- 「疲れた時の対処がわからない」
- 「上司とのコミュニケーションはどうするのが正しいの？」
- 「働く上での必要なルール、マナーがわからない」
- 「お客様にどうやって声を掛けたらいいの？」　等

事業主からの相談内容（例）

- 「障害のことがよくわからない」
- 「指導や注意はどこまで伝えてもいいのか」
- 「突然勤務が安定しなくなった」
- 「面接や実習は問題なかったのに」
- 「障害特性を踏まえた雇用管理とは具体的にどうするのか」　等

よくある悩み①（概要）

社内の清掃業務で障害者を初めて雇用。
本人も清掃の仕事に就くのは初めて。
早速仕事を任せたけれど・・・。



① 掃除してほしい箇所がすべて終わる前に勤務時間が終わってしまう。
一人で作業をしているため、様子がわからない。

② 清掃場所は、各フロアの会議室、廊下、トイレだが、掃除を忘れてしまうところがある。特定の場所ではなく、忘れる箇所は毎日変わる。

よくある悩み①（要因の把握）

障害者職業センターに相談。ジョブコーチ支援を利用。

ジョブコーチが作業の様子を観察すると…。

① 清掃が間に合わない

→各掃除場所で清掃道具が変わるため、何を使うべきか迷っている。また、一人で掃除をしているため、間に合わない時に、誰に伝えていいかわからない様子。

② 清掃場所を忘れてしまう

→各場所の掃除内容は説明されていたものの、作業の順番までは細かく決められていなかった。そのため、どこを掃除したのか忘れてしまう様子。

よくある悩み①（対策①）

JEED

① 清掃が間に合わない への対策

● ジョブコーチからの助言で、
「目で見てわかる」ツールを作成した（右図）。
準備する用具を写真に撮り、掃除用具入れのドアに貼り付け、いつでも確認できるように。



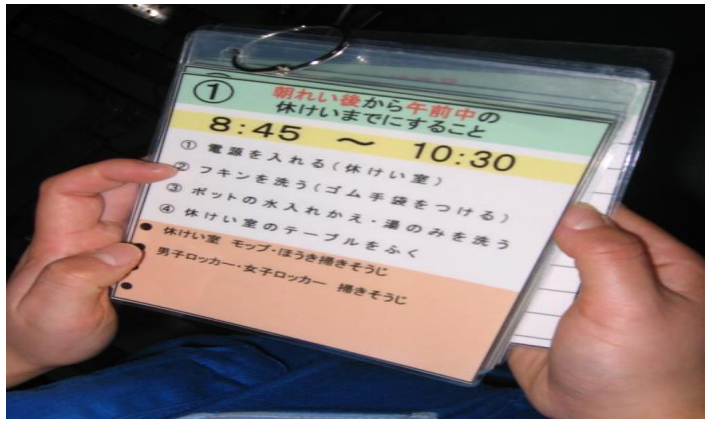
● それ以外の困りごとは、担当者を決め、
相談しやすい体制をつくった。

勤務時間の清掃がスムーズになり、相談もできるように

よくある悩み①（対策②）

② 清掃場所を忘れてしまう への対策

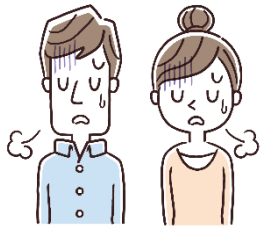
- 一日の作業の流れを決めた。
  それをもとに、携帯できる作業スケジュール表を、ジョブコーチと相談して事業所担当者が作成。
  本人が使用した上で、作業の取り組み状況を事業所担当者と確認。スケジュールだけでなく、簡単な手順の記載がある形に修正（右図）。



掃除忘れがなくなり、本人の作業把握がしやすくなった

よくある悩み②（概要）

事務補助業務で職場実習を利用し障害者を雇用。
本人は経験もあり、職場実習では申し分ない仕事ぶり。
採用に至ったが、本人から心配事が・・・。



人とのかかわりが苦手なため

① 休憩中に一生懸命話をしましたが、色々考えて疲れてしまった。

② 質問・相談することが苦手で、タイミングを逃してしまう。
忙しい中で、質問・相談することに対して、相手からどう思われているのか考えると緊張や不安を感じる。



事業所としてどうのようにかかわればよいのか？

よくある悩み②（要因の把握）

障害者職業センターに相談し、ジョブコーチ支援を利用した。
主に休憩時間を使って本人と話し合い、ジョブコーチにも同席を依頼した。

① 休憩時間の過ごし方

→「疲れた時には一人でゆっくり過ごすことが一番リラックスできる」
「特に初対面の相手は緊張してしまう」

② 質問・相談が苦手

→「様子を気にしすぎてしまい、相手が手を動かしている時に話しかけることができない」と話す。
また、人からの評価を気にすることが、緊張・不安につながる様子。

よくある悩み②（対策）

① 休憩時間の過ごし方

● ジョブコーチからの助言で、本人に了解を取り、「慣れない内は休憩時間一人で過ごしたい」ことを社内に共有。

② 質問・相談が苦手

● 緊急時は、事業所担当者の定期的な声かけ、メール等で対応。

● 緊急ではないものは日誌に記入。
同時に緊張や不安の確認を事業担当者が行う。



本人と事業所担当者との間でコミュニケーションの機会が増えたことで、本人が環境に慣れ、自信につながり、相談できるように

ジョブコーチ支援の目的は？



● ジョブコーチは「事業所の代わりに仕事を教える人」や「事業所の代わりに本人の働きぶりを確認する人」ではありません。
　事業所の方が本人へ仕事を教えるにあたり、分かりやすい教え方を考えたり、仕事しやすい環境を調整するためのサポートをします。

● ジョブコーチは、事業所が障害特性を理解して、障害のある方一人ひとりに合った指導・助言を行えるようにするためのサポーターです。
　障害のある方の特徴や働く際の困りごとは人によって異なります。
　そのため、障害のある方それぞれの「分かりやすい教え方」や「仕事がしやすい環境」について、事業所に助言や情報提供をします。

※ジョブコーチがいなくても、ナチュラルサポート体制（働く障害者を自然な形で見守り、支える職場内の環境づくり）を整えることが目的です。



独立行政法人　高齢・障害・求職者雇用支援機構

鳥取支部　鳥取障害者職業センター

〒680-0842
鳥取県鳥取市吉方189
電話番号：0857-22-0260
メールアドレス：tottori-ctr@jeed.go.jp